



# たんぽぽ

かわさき生活クラブ生活協同組合理事会  
発行責任・佐野めぐみ  
編集責任・機関紙編集委員会  
問合せ:kawasaki.seikatsu.club@gmail.com

## 気候危機 第2弾！ 『農あるまちづくり』

# 農地は地球を救う！

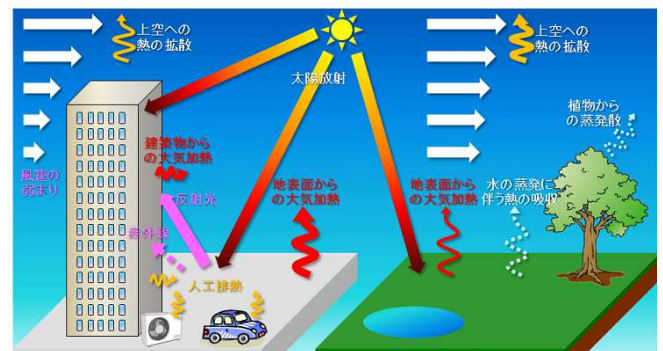
### CONTENTS

- 1-3. 特集 農地は地球を救う！
- 3 私たち組合員のパートナー-W.Co
- 4-6 総代会ダイジェスト
- 7 レポート
- 8 インフォメーション



## ぜひ知ってほしい「農」のこと 気候危機から環境を守るためには「土」が肝！

地球温暖化の影響を考えると、環境問題と農地は実はつながっているにお気づきでしょうか？緑地や水面が減ってしまうと、地面や空気熱が奪われず、熱がこもったままになってしまいます(ヒートアイランド現象)今、見直されている「土の力」、地域に畑があることは、素晴らしいことです。環境を守るためにも「農あるまちづくり」をすすめていきましょう。



## 注目 地球温暖化による農業生産等への影響の予測

### 北アメリカ

●今世紀初期の数十年間は、降雨依存型農業の生産量が5~20%増加するが、地域間で重要なばらつきが生じる。

### ヨーロッパ

●北ヨーロッパでは、気候変化により、暖房需要の減少、農産物生産量の増加、森林成長の増加がみられるが、気候変化が継続すると、冬期の洪水、生態系危機、土壌安定性減少による悪影響が便益を上回る可能性が高い。

●中央ヨーロッパ、東ヨーロッパでは、夏の降水量が減少し、水ストレスが高まる。

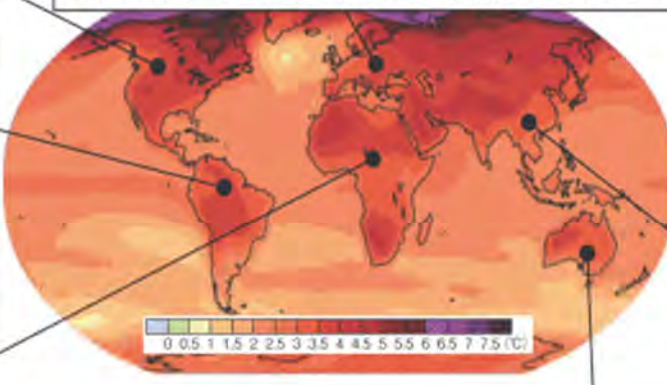
●南ヨーロッパの一部で、高温と干ばつが悪化し一般的に農作物生産が減少。

### ラテンアメリカ

●今世紀半ばまでにアマゾン東部地域の熱帯雨林がサバンナに徐々に代替。

●より乾燥した地域では、農地の塩類化と砂漠化により、いくつかの重要な農作物・家畜の生産力が減少し、食料安全保障に悪影響。

●温帯地域では大豆生産量が増加。



### アジア

●2050年代までに10億人以上に水不足の悪影響。

●南アジア、東アジア等の人口が密集しているメガデルタ地帯で、洪水が増加。

●21世紀半ばまでに、穀物生産量は、東・東南アジアで最大20%増加。中央・南アジアで最大30%減少。人口増加等もあり、いくつかの途上国で飢饉が継続。

### アフリカ

●2020年までに7,500万~2億5千万人に水ストレスが高まる。

●いくつかの国で、降雨依存型農業からの収穫量が2020年までに50%程度減少。

### 豪州・ニュージーランド

●降水量減少、蒸発量増加により、豪州南部・東部、ニュージーランド北東、東部地域で2030年までに水関連の安全保障問題が強まる。

●豪州南部・東部、ニュージーランド東部の一部で、増加する干ばつと火事のために、2030年までに農業・林業の生産が減少。

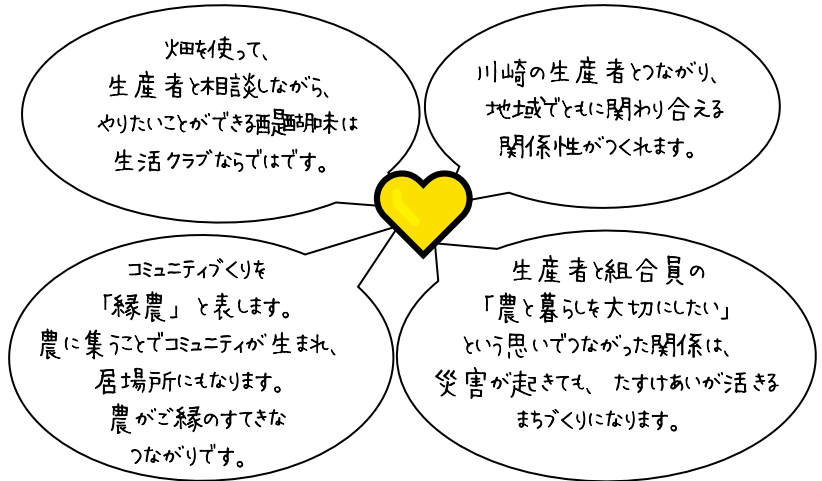
●ニュージーランドの西部・南部等においては、成長期の長期化、降雪の減少及び降水量の増加によって、当初は便益がもたらされる。

資料：気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 「第4次評価報告書第2作業部会報告書」を基に農林水産省で作成  
注：地図は「第4次報告書 (Figure SPM. 6. Alb)」の100年後の平均地上気温の上昇予測。下線部はプラスの影響予測。

# 特集 地域の畑で「つくる」「つながる」「まもる」

川崎市の畑はどんどん宅地化され、1985年に1,237ヘクタールあった農地が2018年には549ヘクタール(田20、畑529)と減少しているのが現状です。市域面積14,435ヘクタールのわずか3.8%です(資料:経済労働局都市農業推進センター)

川崎市の貴重な農地面積の中に、かわさき生活クラブの生産者団体である「向丘農産物流通組合」があります。生産者と組合員が信頼でつながっています。「つくる⇒つながる⇒まもる」そして、「食べる」身近な地域に農地があり、FEC自給圏を広げられる可能性があることは素晴らしいですね。



\*一緒に実現できていること

- ①農薬・化学肥料の少ない環境に優しい農法の実施・・・太陽光消毒による土壌消毒、フェロモントラップ、バンカープランツ、食品残渣や落ち葉等地域内での堆肥利用
- ②安心して選べる野菜・・・農薬、化学表の使用回数の表示
- ③生産者と消費者の交流・・・縁農や体験型農園、親子で畑体験



かわさきは、生産者と関わり合いながら農体験でき、採れたての地場野菜を利用できる恵まれた環境です。向丘農産物流通組合と共に、できるだけ農薬を使わない野菜作りをすすめています。

「目の前の新鮮なこの野菜が食べたい」という組合員の思いから、1976年向丘農産物流通組合とは取組が始まりました。その頃は、組合員が収穫できる野菜を直接生産者と取引し、配送も自分たちで行っていました。ここから生活クラブ地場野菜取り組みが始まりました。



↑向丘農産物流通組合は宮前区と高津区にあります。吉岡さん、藤井さんの畑は宮前平駅と向ヶ丘遊園駅の真ん中辺り。



↑生産者の吉岡さんいつもありがとうございます！



←みんなで一緒に畑作業は楽しいですね(体験型農園)

## かわさき生活クラブと向丘農産物流通組合との連携

1976	小泉グループと旧宮前・高津支部の自主取り組み開始
1981	吉岡、藤田グループと旧多摩支部の自主取り組み開始
1984	・向丘農産物流通組合結成 ・生活クラブ神奈川の野菜の共同購入開始。欠品を無くすために市場物も扱い、全体化でロス削減。 ・デポーには地場コーナー
1999	デポーの地場野菜セット取り組み開始
2004	かわさき地域生協発足
2005	野菜アクション実行委員会 畑めぐり
2006	アソシエーション「野菜大好きファーム」発足
2012	東京、神奈川 commons の都市近郊野菜セット
2018	向丘の野菜はデポーだけの取り組みとなる
2019	体験型農園始まる(現在4期)



# 特集 子どもたちに伝えたい・残したい <農地>

気候危機は農作物の成長にも大きく影響します。雨のふり方が大きく変わり、大雨が増えたり、逆に雨が降らなくなってしまったりして、今まで作れていた農作物も作れなくなってきています。日本では食べもののおよそ2/3は海外で作られたものです。世界のあちこちで食べものがうまく作れなくなったら、一日一食しか食べられなくなってしまうかも知れません。

お子さんにこのような説明はいかがでしょうか？  
ぜひご家族で地球温暖化について話してみてくださいね。

だから、どうしたら身近な地域に農を残していけるのか、みんなで考えていくことが大切なんだね！

土と触れ合う  
農産物を知る

縁農

農を知る・人とつながる  
「生活クラブなくらし」

地産地消・食べて知る

体験

生産者

食育



デポー

組合員が向丘の  
野菜を買える場所

畑にかかわる人をおおぜいしましょう。  
「土」が見直されています。触れて癒される、リフレッシュできる、生ゴミのリサイクル(堆肥化)ができる・・・  
いいことだらけです。

生産者から新鮮な野菜がデポーに届きます。楽しみですね。

## <募集してます・参加してみよう>

- ★縁農・・・毎週土曜日午前(変更有り)
- ★体験型農園・・・8月頃 第5期募集予定
- ★さつまいもを育てよう・・・植え付け5月 収穫10月  
日程未定のため参加希望予約です
- ★草取り参加者を大募集！  
藤井さんの畑は7月17日(土)と8月7日(土)、  
吉岡さんの畑は7月22日(祝木)、7月31日(土)です。



↑教えてもらいながら、  
みんなでやります。



←草取りに来てくださ～い。

## 私たち組合員のパートナー

W.Co

ワーカーズ・コレクティブ



宮脇真理子さん  
(W.Co デポット  
のぼりとランチ)

「地域に貢献できる仕事がしたい」と、のぼりとデポットのワーカーズになって5年になります。家庭では、様々な方に助けられながら障がいのある娘を育てていますが、ワーカーズのメンバーは、私の状況を理解し共に働いてくれる大切な仲間です。昨年、労働者協同組合法が国会で可決されましたが、今後ワーカーズ的な働き方は今まで以上に大きな役割を担っていくことと思います。

コロナ禍で孤立が深まっている昨今ですが、組合員さん同士が買い物中のわずか

な時間を使ってお話をしている姿などを見ると、デポーという場が地域の拠点として組合員さんの気分転換に役立っていると感じ、嬉しいです。

デポーでの買い物や活動は、今注目のSDGsに自然と取り組んでいることとなります。のぼりとデポーは来年度リニューアルオープンを予定していますが、より多くの人がデポーを利用することで、地球環境を守り「みんなが豊かな社会」の実現への一歩につながるようワーカーズのメンバーと一緒に明るく楽しく働きたいと思っています。

W. Coデポット 生活クラブ生協の店舗業務全般  
一緒に働きたい方連絡先: 本部 045-472-0530



身近な地域で働きたいなと思った方はこちらもご覧ください→

# 第18回 かわさき生活クラブ生協通常総代会 開催報告

【審議事項】第1号議案 第3次中期計画報告の承認及び第4次中期計画の決定 第2号議案 2020年度 活動・事業報告  
第3号議案 2020年度 事業報告書及び決算関係書類の承認 2020年度 監査報告 第4号議案 2021年度活動方針及び事業計画の決定  
第5号議案 2021年度予算の決定 第6号議案 役員報酬限度額の決定 第7号議案 定款の一部改定 第8号議案 第18回通常総代会特別アピール

かわさき生活クラブ生活協同組合第18回通常総代会を6月3日(木)高津センターにて開催しました。総代総数200人中196名(実出席4名、書面議決192名)が参加し、すべての議案は承認されました。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、書面議決を取り入れた開催となりました。

## 第3次中期計画報告の承認 及び 第4次中期計画の決定

### ■第3次中計の振り返り

～組織政策転換を機に組合員組織と事務局組織の自立化をすすめてきた5か年～

「私・コミュニティ・地域・まちの自給圏を未来に」をテーマに、おおぜいの組合員が生活クラブを生活用具として、個人の思いや様々な興味関心事から、自在な活動を数多く展開することで、地域が豊かになることをめざしました。各地域(コモンズ・デポー)が、主体的に多様な活動をすすめていくために、活動のあり方を問い直すことを中心に、共有に力をいれ、新たな人の登場をつくり、FEC自給圏づくりをテーマに生活クラブ運動を推進してきました。

### ■第4次中期5か年計画(2021～2025年)

テーマ 『気候危機の今、地域で自ら行動することで、より良い社会へと変えていこう』

### 第4次中期計画の基本的考え方

私たちは、誰もが安心して暮らせる社会、子どもたちに希望を持って生きていける未来を手渡せる、持続可能な社会をめざして生活クラブ運動をすすめています。暮らしやすい地域づくり、わたしたちのめざす社会づくりには、共に運動を進めるおおくの仲間と、様々な活動団体との連携が必要です。共に運動を発信する私が、おおぜい居ることで、私の思いや意見はおおきな影響力をもちます。おおぜいで運動を進めることにより、しくみや制度、社会を変えていく力になります。共に運動をひろげる仲間を増やし、わたしたちのめざす社会の実現においておおぜいの仲間と共に行動します。

### 第4次中期5か年計画でめざすこと

- ★活動のすべての面で仲間づくりをすすめて、参加をつくる(出資・利用・運営)
- ★「気候危機」から発想し、自在な活動の豊富化で運動をひろげていく(FEC自給圏づくり)
- ★住み暮らす地域での行動から社会を変えていく(かわさき2030行動計画づくり・おおぜいで行動)

## 2020年度 活動・事業報告

基本テーマ：地域での人のつながりを豊かにひろげ、誰もが暮らしやすい地域(FEC自給圏)づくりをすすめます

### 活動総括

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから、日々の生活の在り方、人との関わり方など日常生活を改めて考えるスタートとなりました。組合員活動についても、これまでの活動の意義を問い直し、私たちの身の回りに溢れている問題に対して、生活協同組合として「共同」「協同」「協働」の力で、私たちに今何ができるのか、知恵と工夫を凝らし、チャレンジしていくことから取組み、組合員同士のつながり、地域との結びつきなどを改めて結び直して行動してきた一年となりました。私たちの暮らしに大きく関わる気候危機についての学びを深めました。より多くの人が危機意識を高めて行動することが必要だと考え、環境課題への気づきをつくり、気候危機の認識をひろげる活動を行いました。今後も認識をひろげ行動する人を増やす取組みを継続していきます。

今年度は、第3次中期計画の最終年度のため、2016年からの5年間を、第1次・第2次中期計画での活動の振り返りを踏まえて、活動総括を行いました。次の中期5か年計画につながる議論を丁寧に行い、一人ひとりが生き活きと、安心して暮らせる地域社会づくり(FEC自給圏)をめざし、地域コミュニティが豊かにひろがる運動と事業の継続と発展につながる計画づくりをすすめました。重点政策：遺伝子操作をテーマとした「学べば語りたくなる」活動 地域に必要な拠点づくり活動 第4次中期計画策定活動

### 共同購入活動総括

年度初めから前年を超える利用高が続いており、2020年度の利用率は前年比120.3%、計画比118.5%です。新型コロナウイルス感染症の影響で、家で食事をする機会が増えていることや組合員数が増えたことが影響しています。私たちが共同購入で目指す持続可能な生産と消費、国内自給力向上、計画購入の取組みの重要性の認識は高まっています。急な需要の伸びとコロナ感染防止のため生産現場の制約の為、利用が集中しすぎたロールペーパー、小麦製品等で生産が追いつかず一時的に欠品が生じました。しかし全体的にみると欠品は少なく、国産にこだわって生産者と一緒に消費材を作っている意義を改めて実感しました。会えないことで直接に伝わった反応が見えない状況の中、各組織では、機関誌、SNS、オンライン等を利用してコミュニケーションを

とる工夫をして活動しています。委員を中心とした地道な情報発信が共同購入に関する組合員の理解をつくるきっかけとなっています。

### 組織活動総括

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、春に計画していた活動が全て中止となり、不安や混乱でのスタートとなりました。しかし、緊急事態宣言下、自宅で過ごす時間の中で、対話したい思いが高まる機会ともなりました。小さくとも対話する場の大切さや有用性に気づき、これまで当たり前としていた活動に捕らわれず、各組織が様々な工夫し、つながり、つなげる活動をすすめました。

**共有活動:**これまで当たり前としてきた活動がすすめられない状況は、1つ1つの活動について、何のために実施するのか、どうやったらできるのか、「自ら考え行動する人づくり」がすすむ好機ともなりました。共有活動の年間計画を再計画し、オンラインを併用し、2時間を基本として機関会議や学習会を組み立て直し、全ての活動を共有の場として捉え共有活動をすすめました。今後、各組織で、それぞれの課題やニーズを元に実施時期や内容を選んで実施できる(オンデマンド型)共有をさらに充実させ、各組織による能動的・主体的な活動を豊富化し、参加者を当該組織とともに活動する人につなげていくことめざします。

**広報活動:**コロナ禍でもできる活動として、SNSを使った広報活動が活性化しました。今後、より判りやすい、メッセージ性のある情報発信に向け、動画など新たなツールの活用や組織間の連携強化など、組織全体で戦略を立て対策をすすめます。

**消費委員会:**コロナ禍の現状から国内自給向上と消費と生産のバランスを常に考えて購入する計画購入「予約」の大切さに改めて気付かされました。各組織でアイデアを出し合いながらSNSや機関紙、手紙等を利用して、共同購入の理解と共感を伝えました。秋以降はオンライン生産者交流会等の開催、年末予約活動を行い、ビジョンフォードの利用と予約(特に米と野菜)・生活クラブ消費材の利用を高める活動を行いました。

**共済たすけあい委員会:**活動方針は「エコロ共済」「経済共済」「福祉たすけあい基金」の3本柱を基本にたすけあいの仕組みへの理解と共感をひろげることで、20年度方針の肝として考えていた「エコロ共済」の理解を深める活動を中心にすすめました。

**環境平和委員会:**「Think globally Act fromかわさき」をスローガンに、境平和委員会の活動の柱(せっけん、エネルギー、平和)への共感をより高め、仲間づくりをひろげる活動に取組みました。

**年末実行委員会:**「共同購入への理解と共感をひろげる」ことを最重要としました。コロナ禍という社会状況も考え、少人数で学ぶ「お家で学ぼう」を提案し、活動をすすめました。活動の形は変わりましたが、新規組合員への呼びかけやサンプルの活用をすすめて、「共同購入」への理解と共感を深めるということを柱に活動を進めることができました。運営委員会、専門委員会との連携で、年末予約活動を行うことができました。

**ふれあい広場推進会議:**高津センターを拠点に地域の子育てを共に考え、子育て中ママ達の情報交換の場をつくるなど、地域の子育てを組合員、地域、W.Coキャンディと共に検討し、活動を進めました。

**生活リハビリクラブ幸運会議:**「祝30周年、人がつながる豊かなまちへ」を活動テーマに、設立30周年を契機として、組合員を含めた地域の人に参加型福祉をひろめ、地域を豊かにする活動をおおぜいの組合員ですすめました。

**生活リハビリクラブ麻生運営会議:**「来て!見て!参加して!!」を活動テーマに、コロナ禍でも地域と組合員に生活リハビリクラブ麻生の周知と認知をはかる活動を主体的にすすめました。

**戸手生活館運営会議:**戸手生活館を地域の多世代の拠点としていくことをめざし、戸手生活館運営会議を中心に活動をすすめました。

**生活クラブ運動グループ地域活動連携協議会かわさき:**かわさきW.Co協議会を構成する(委託請負業務を執行する)各W.Coと、年間計画をたて定期的な協議の場をもちました。コロナ禍での共有を行い、パートナーシップ強化のために必要な対策について話し合い、ともに推進しました。

**生活クラブ運動グループコミュニティオペティム福祉マネジメントユニット会議:**(通称:ユニット)川崎北、高津・宮前、川崎南部の各ユニットで、地域課題の解決策を討議し、活動しました。

**平和と生活のつどい実行委員会:**「多文化共生のまちづくりを考える場として、2月に「平和と生活のつどい」を開催の予定でしたが、コロナ感染拡大対策のため、2020年度は開催を見送ることを決定しました。



## ■拡大実績(2020年4月～2021年3月)

	組合員数			期首伸張率(%)	計画達成率(%)	
	期首	加入・脱退	期末		加入	拡大
班個配	8,282	345	8,551	103.2	88.5	104.5
デポー	3,830	103	3,897	101.7	94.0	77.4
合計	12,112	448	12,448	102.7	90.1	96.2

## ■供給実績(2020年4月～2021年3月)

	供給高(万円)	計画比(%)	前年比(%)	世帯当利用高(円)	計画比(%)	前年比(%)
班個配	304,445	122.3	124.6	29,915	122.9	120.5
デポー	82,702	106.3	106.9	17,775	108.2	103.7
合計	387,147	118.5	120.3	26,106	119.6	116.5

## ■剰余金処分案

I. 当期末処分剰余金	143,780,508 円
II. 当期処分額	
1. 法定準備金	8,900,000 円
III. 次期繰越金	75,280,508 円
1. 法定準備金は、生協法第51条の4に基づき、当期剰余金の10分の1以上に相当する890万円を積み立てます。	
2. 次期繰越剰余金には教育事業等繰越金相当分444万円を含みます。	

## ■利用分量割戻金増資充当決議

剰余金処分案が承認されましたので、未処分剰余金より利用分量割戻金2,960万円とそれに伴う消費税分240万円、合計3,200万円が利用高に応じて組合員に割り戻されます。この割戻を受けた組合員は、割戻に相当する額(消費税分を含む)を各自の出資金に増資充当します。

## 2021年度 活動・事業方針

### 基本テーマ：気候危機の今、おおぜいの仲間と共に、暮らしやすい地域社会をつくる運動を伝え、すすめます

#### 基本方針

- 地域に新たな仲間をつくります
  - 持続可能な社会の実現において、活動のすべての面でも活動する仲間を増やす事が重要です。私たちの運動に自信をもって発信し、共感をつくり、新たな仲間をつくります。
  - 地域のなかで、新たな人と出会い、対話して、一緒に行動する人をつくります。
- 共同購入運動をひろげます
  - 共同購入運動(価値がある消費材)への共感を深め、利用結集への参加と責任の実感をつくります。
  - 社会の課題を認識する人を増やし、活動の意義をひろげます。
  - 「コモンズステーション<sup>※4</sup>」の実験取組みから、共同購入の新たな参加をつくります。  
<sup>※4</sup>「コモンズステーション」・班・個別配達とは異なるもう一つの新たな共同購入の形態
- 平和(命)を中心に多様な活動をつくり、行動する人をふやします
  - グリーンリカバリーにつながる活動をすすめます。
    - 生活クラブグループ全体で行う、「未来につなげる♪エネルギーアクション!」実行委員会に企画し、取組みます。
    - 生活リハビリクラブ麻生の建設の機会を活用し、かわさき生活クラブの発電所づくりへの共感を高めます。
  - 多様なチーム活動の参加から自発的な活動をつくります。
- 地域福祉を参加型でひろげます
  - 地域でたすけあえる日常の関係性をつくり、ひろげます。
  - たすけあい活動を推進する人づくりをすすめます。

#### 重点政策

- 第4次中期5か年計画の初年度、自分たちの住み暮らす地域を見つめ、人とのつながりをつくり、地域の課題解決に向けた行動をすることの大切さを知らせ、ともに地域社会づくりをひろげていきます。
- ともに育つ人づくり
    - ともに育ち、学び、自ら行動する人が増やし活動をひろげます。
    - 新規加入者への語りかけを強め、つながりをつくり、共感を高めます。
  - まちづくり
    - 地域で働く価値を高め、共感をつくり、W.Co運動をひろげます。
    - 全ての人が参加し、地域でおたがいさまのたすけあいをひろげます。
    - 都市近郊農業を知り、地域に農地がある価値を高めます。
  - 拠点づくり
    - のぼりとデポーリニューアルを機に、地域の活動拠点をコモンズとの連携でつくります。
    - 生活リハビリクラブ麻生建設計画を通じて「地域の孤立をなくす」まちづくりの拠点

をめざします。

- 連携づくり
  - W.Coとのパートナーシップを強め、組合員と職員の連携を強化し、運動をすすめます。
  - 生活クラブ運動グループ、地域の活動団体とのつながりを大切に、連携を深め、行政(市・区)との協働連携をひろげ、地域づくりをともにすすめます。
  - 地域のたすけあいを豊富にするため、様々な団体との協働・連帯をめぐして新たな組織の設立を検討します。

#### 共同購入方針

- 利用結集に参加する人を増やします
 

市場の問題への対策である共同購入活動の意義を伝え、利用結集を削ります。 unnecessaryな添加物や農薬・化学肥料を削減した消費材や遺伝子組み換え対策をした消費材を利用することで、社会に対して意思を表明し、それらの問題の解決に貢献します。

  - FOOD
 

ビジョンフード(米、牛乳、鶏卵、畜肉、青果物)は、持続可能な食糧の国内生産、共同購入運動の展望(ビジョン)を描く消費材です。予約して消費することで、生産者は計画的に効率よく生産でき、私たちは新鮮で素性確かな消費材を適正価格で安定的に利用できます。計画的に生産される消費材を責任をもって消費することが大切であることを理解して利用する人を増やします。
  - ENERGY, ECOLOGY
 

環境の観点からも消費材の利用の意義を語り、利用結集します。
  - CARE
 

生活クラブ共済ハグくみは、もしもの時の安心をつくるお互い様のたすけあいの消費材です。その理念を語り理解を作り、お互い様のたすけあいの輪をひろげるため、加入者を増やします。
- 新規組合員フォロー
 

私たちが求める食の安全、環境、たすけあいは共感するおおぜいの仲間がいて実現されます。新規に加入した方が共同購入を理解し、共感し、利用する人、活動参加する仲間となるように、丁寧なフォローを行います。
- 農の生産現場から持続可能な生産と消費を考え、運動への共感をひろげます

#### 組織活動方針

- 組織活動方針
  - 「かわさき2030行動計画づくり」を道具に、人づくり仲間づくり(組織基盤の強化)をすすめます。
  - 専門委員会を形成し、興味関心からの活動参加をつくりひろげます。
  - 地域資源(人や市民活動団体)と連携をすすめます。
- 共有方針
  - おおぜいの気づき・参加の場をつくり、各コモンズ・デポーのかわさき2030行動計画づくりの

活動を、運動・活動の理解・共感をつくりひろげる共有の場として活用します。

- 暮らしやすい地域社会をつくる運動を伝え、すすめるため、かわさき生活クラブ全体で連携して内外への発信を強化します。
- 理事会の責任の下、機関紙「たんぼぼ」を隔月発行します。
- 気候危機を年間テーマとして、かわさき生活クラブの持続可能なFEC自給園づくりに向けたかわさき2030行動計画づくりの活動を伝えます。
- SNSを使って活動をひろく発信していきます。

#### 4. 専門委員会活動方針

##### 1)消費委員会:

- 組織の主体的な活動で利用結集を推進します。また、かわさき生活クラブ発の新規開発品「冷凍五目あんかけそば」の利用結集活動を盛り上げます。
- かわさき消費委員会で生活クラブ神奈川50周年記念消費材開発を行います
- 遺伝子操作(遺伝子組み換え、ゲノム編集)について、継続して反対を表明していきます
- 新規加入者フォロー

##### 2)共催たすけあい委員会:

- いざという時にたすけあえるよう、身近な地域で日常の関係性づくりをひろげます
- 生活クラブ共済「ハグくみ」の加入促進を強めるため、計画を持って活動します
- たすけあい活動を推進する人を増やします
- 毎月100円の寄付が、巡りめぐって「自分たちの住む町の豊かな地域づくりへつながる」ことへの共感をひろげ、福祉たすけあい基金の賛同者を増やします。

##### 3)環境平和委員会:

- 気候危機の気づきをつくり、脱炭素社会への改革を推進します。
- 平和なまちづくりにつながる循環型社会に向けた活動を推進します
- 全ての命を大切にする、平和な社会(核兵器廃絶・脱原発、多文化共生)に向けた共感づくりの活動を活発にします
- 人間も含めた生物多様性・水環境を守る活動をすすめます

\*その他の活動についても方針を持ち取組んでいきます。紙面の都合上、記載は省略します。

## 第18回通常総代会 特別アピール 自然と共生し地域で助け合って暮らす社会づくりをすすめよう

川崎市に1つの生協、かわさき生活クラブ設立以来、私たちは思いを持って地域に対話を投げかけ、おおぜいの私の参加をつくり、生活クラブ運動をつなげてきました。

設立から17年、私たちの社会の問題として設立趣意書に記した「地球規模の環境破壊の加速」は、全世界で今すぐ対策をすすめなければならぬ最優先課題となっています。

2015年のパリ協定では、産業革命前からの気温上昇を2℃(努力目標は1.5℃未満)に抑えることを全世界の目標としました。しかし、温室効果ガスの排出は増え続けています。

2018年、2019年と巨大台風が連続して直撃し、川崎市でも広範囲に甚大な被害をもたらしました。2020年の環境白書では、「もはや単なる『気候変動』ではなく、私たち人類やすべての生き物にとっての生存基盤を揺るがす『気候危機』」に悪化しています。早ければ2030年には臨界点を超え、2100年には日本の夏は各地で40℃を超える「激暑」になるとの予測もあります。全世界で今すぐ対策をすすめなければ、私たちの子どもや孫の世代は、そんな時代を生き抜かなければならなくなってしまうのです。

気候危機の時代を乗り越え、望む社会を実現するためには、私たちがこれまで取り組んできたFEC自給圏づくりを更に発展(Develop)させていくことが必要です。

例えば、消費材の利用は、食の自給率を上げ、フードマイルージ(食糧の輸送距離)や食品ロスも減らし、CO2排出を削減することができます。グリーンシステムや廃食油回収・きなりっこ使用は地域内資源循環をひろげることができます。生活クラブでんきへの切り替えは、化石燃料にも原発にも依らな

い、再生可能エネルギーの自給圏をひろげることができます。エコロ共済やエコロプラス・防災コミュニティは、いざという時の近助・ケアの自給圏をひろげることができます。

2020年からのコロナ禍で、多くの人が地域から分断され、孤立や孤独が広がったと言われています。地域のつながりを取り戻し、質の高い持続可能な地域づくりに寄与したいと思って活動する市民が増えてきている今が、私たちの活動を大きく発展させるチャンスです。

未来は私たち一人ひとりの日々の生活の積み重ねの先にはありません。より良いものにしたいと思い、今の暮らし方を変えるおおぜいの私の力によって未来の姿も変わる、ということでもあります。

気候危機に喘ぐ競争社会(ディストピア)ではなく、持続可能な共生社会(ユートピア)を描いて、地域に存在している人や場、活動などの資源を捉え直すことから、次の第4次中期5カ年の活動を始めましょう。

FEC自給圏づくりの活動は、全世界で達成をめざすSDGs(持続可能な発展目標)の理念と重なり、それにとどまらない活動です。

自信を持って夢や展望を投げかけ、地域に自分と一緒に活動する仲間、自ら考え行動するおおぜいの私を増やし、つながり、変革を促す多様な活動を実践・発展させていくことが必要です。人が人らしく自然と共生し、こころ豊かに地域で助け合って暮らす「協同」の経済・社会の実現に向け、ローカルSDGsの実践、かわさき2030行動計画づくりをすすめていきましょう。

※なお、議決の本旨に反しない範囲での字句修正は、理事会に一任します。

**誤記修正:総代会議案書93ページ デポ-のせっけん類アイテム別実績が前年度の内容となっております。下表に差し替えとなります。**

●かわさき【デポ-:計】20年4月~21年3月 せっけん類アイテム別実績(19年4月~20年3月との比較)※数量比較

年月	きなりっこ キッチン&クリーン	きなりっこ せっけん2kg	粒状 せっけん	無添加 粒状せっけん	詰替用 液体せっけん	きなり姫 液体せっけん	合計
2004	10	72	30	57	81	8	258
2005	17	54	36	44	88	10	249
2006	11	49	29	36	98	7	230
2007	21	88	52	47	82	6	296
2008	16	56	35	59	146	7	319
2009	13	47	58	27	108	7	260
2010	15	65	58	51	114	7	310
2011	18	59	40	58	100	9	284
2012	17	80	60	54	134	7	352
2101	15	60	47	51	91	7	271
2102	13	57	37	33	85	8	233
2103	15	60	38	46	105	9	273
20年度合計	181	747	520	563	1232	92	3335
前年比	81.2%	90.2%	95.9%	94.9%	112.5%	84.4%	98.4%

### 主な質問・意見

**意見:**遺伝子操作アクションチームを強くして、組合員に強く訴えてほしい。NON-GMアクションを強めて欲しい。生活クラブのトレードマークのサステイナブルな社会になり生活クラブに入って活動したことを確認できる年になりましたが、イベント的な感じで終わることなく続けて欲しいと思います。

**回答:**遺伝子操作の問題は、消費委員会、環境平和委員会を中心として継続して、方針をもち反対運動に取り組みます。遺伝子操作アクションチームは興味ある人のアクションを起こす入口の活動としています。

※その他にも多くの質問、意見をいただきました。今後の活動に反映させていただきます。



# レポート



はじめまして！かわさきハグみです♪22個の応募作品の中から、選ばれました。その他の作品も発表していきますので、どうぞ楽しみにしてくださいね。自己紹介はまた今度。

## Vision 生活クラブ運動講座

5/25(火)高津センター・zoom 参加者 94 名

講師：かわさき生活クラブ佐野理事長、竹内専務

生活クラブ 50 年の歴史やかわさき生活クラブがめざすこと、「出資・利用・運営」おおぜいの組合員で活動をすすめていることなど、自己紹介を重ねて伺いました。誰一人取り残さない未来のために私たちはどう行動すべきか改めて考える機会となりました。参加者からは、組合員の思いを様々な形で発信することが共感をつくり、仲間づくりにつながることに、そのために二歩前に出ることが大切であることなど、多くの気づきの声が寄せられました。(仁藤)



↑ 高津センター会場

## エコシティかわさきフェス

●川崎市地方自治研究センター提案事業

5/23(日) 高津センター・Zoom 参加者 83 名



基調講演 講師：

国立環境研究所 江守正多さん

平均気温の上昇は大雨や洪水などの害や農作物の不作といった形で私たちの生活に大きな影響を及ぼします。気温上昇が、あるしきい値を超えると急激な変化が連鎖し、温暖化を止められなくなる可能性があります。温室効果ガスの排出実質ゼロの「脱炭素社会」の実現は我慢して達成できる目標ではなく、人々の常識が変わる「社会の大転換」が必要です。身近で起きた大転換の例として、タバコの分煙を取り上げて説明されました。

基調講演の後、市内の環境関連団体が各ブースの前で活動紹介を行いました。再生可能エネルギーへの切り替えをはじめ、多くの人に気候危機について伝え、おおぜいの仲間で行動しようと気持ちを強める機会となりました。(山口)



↑ 会場参加者と参加団体ブース

## キララ賞受賞者交流会

5/30(日)高津センター・Zoom 参加者17名

昨年のキララ賞受賞者の百崎祐さんをお迎えて交流しました。子どもたちからまちづくりに参画し、現在は NPO のスタッフとして、まちを楽しく・豊かにする活動をされているお話は、子ども目線のわくわくするようなアイデアが沢山あり、私たちの活動のヒントになりました。

今年度のキララ賞 募集〆切は8月31日です。

私たちのまちにも、素敵な活動をしている若者がいるよ！！という方がいましたら、ご応募をお待ちしております。(杉本)



↑ 中央が百崎祐さんです

★応募の詳細は  で検索してね!

## 気候危機アクションかわさき

オンラインおしゃべり会で、私たちにできることを一緒に見つけませんか？ LINE 公式アカウントでおしゃべり会の日程や気候危機に関する情報を発信中。ぜひ友だち登録を！



## 理事会報告

5月監事会：2020 年度監査報告 ▼ 討議決定：総代会議案書最終決定 ▼

報告承認：かわさき 2030 行動計画、気候危機アクションかわさき活動計画、生活リハビリクラブ麻生新拠点太陽光発電建設設置計画、理事会研修計画、新規加入者対策、リフレッシュツアー実施計画、フリースペースたまりばとの活動連携、川崎市 SDGs パートナー登録/川崎プレイブサンダースとの SDGs 連携、たんぽぽ発行計画、地域生協・ユニオンの業務提携に伴い発生する費用に関する覚書の締結

6月監事会：2021 年度監査の重点項目 ▼ 報告承認：監査指摘事項への対応、FEC+W KAWASAKI まつり開催計画、生活リハビリクラブ麻生新拠点太陽光発電建設設置計画、サステナブル LABO 開催計画、BDF 車両の運行停止と今後の BDF 利活用に向けて、キララ賞かわさき推薦活動計画、のぼりとデポー拡大進捗点検、エコロひろば継続/新規エコロひろば登録、委託 W.Co 契約内容、地域生協役員傷害保険の更新、たんぽぽ発行計画、たちばなフェス開催

## 基本報告

	組合員数		世帯当たり 利用高 (5月)
	期首(4月)	5月末	
班	763	747	26,264
個配	7,783	7,869	25,256
デポー	3,897	3,927	15,873
合計	12,448	12,543	22,370

## 編集後記

先日、知り合いの娘さんが長い髪をバツサリ。理由を聞くと結婚式が終わったから。切った髪はヘアードネーションに。病気などで髪を失った子どものウィッグに使われるそう。長さが 31 センチ以上だと寄付できます。ほっこりした話でした。(ち)



# インフォメーション



たんぽぽに掲載の企画は、かわさき生活クラブの組合員またはかわさき在住の方が対象です。

環境チーム2021第3回 地域内資源循環学習会

## ぐるぐるめぐる 夏休み親子企画 ゴミが宝になる話



### 8/5(木) 10:00~12:00

場所:高津センター3階

捨てればゴミ 集めて使えば宝(資源)になる! 資源循環の仕組みが川崎市や生活クラブの中にあります。

油の回収やせっけん手作りなど楽しくワークショップをしながら、ゴミを出さずに資源循環する暮らし方について学びます。大人のみ参加も歓迎です!

環境平和委員会主催

## 汚れと洗浄の理論から 最近の合成洗剤の問題と 石けんの良さを理解する



ZOOM参加可

### 9/23(木) 10:00~12:30

場所:高津センター3階

洗剤・環境科学研究所 所長の長谷川治氏を講師に迎え、せっけん業界の最新事情や、せっけんと合成洗剤の基本的なことを学びます。今回はせっけんマイスター講座(全5回)の第1回目にもあたるので、せっけんマイスターを取得したい人やせっけんの正しい使い方を知りたい人などどなたでも参加できます。

キリトリ

## たんぽぽインフォメーション申込票

高津センター:かわさき生活クラブ理事会事務局行  
矢向センター:かわさき生活クラブ担当行

- ( ) 7/17 ( ) 8/7 : 藤井さんの畑の草取り
- ( ) 7/22 ( ) 7/31: 吉岡さんの畑の草取り
- ( ) 8/5 ぐるぐるめぐるゴミが宝になる話
- ( ) 8/17 サステイナブルLABO  
気候危機 今わたしにできることを話そう
- ( ) 9/23 汚れと洗浄の理論から最近の合成洗剤  
の問題と石けんの良さを理解する

かわさき生活クラブ生協高津センター

宮前区宮崎2丁目1-1 FAX:044-852-0680

理事会主催

## サステイナブルLABO

~気候危機 今わたしにできることを話そう~



ZOOM参加可



世界を変えるための17の目標

### 8/17(火) ブース展示 10:00~12:30 アニメ上映 14:30~16:30

場所:高津センター3階(ZOOM併用)

エネルギー、農、食、人とのつながり、居場所、平和の6つのテーマからなる、体験型・参加型のイベントです。詳しくはこちら→  
SDGsって何だろう。

何をしたら良いのかな?

夏休みの自由研究のヒントにも。

みんなで一緒に考えましょう。



もう食べた?

## 冷凍五目あんかけそば



注文 8/16 ~8/21(班・個配)

515円(税込556円)



「外食や市販の冷凍品にはない、添加物や不要な農薬を使用していない、原材料まで素性確かな消費材が欲しい!」との思いから宮前コモンズで開発がスタート。会議や試食を何度も行い、デビューを迎えた自信作です!

みんなで利用してね!

電子レンジ フライパン調理

素性確かな国産原料

化学調味料不使用

NON-GM

●メ切は開催1週間前です。

●ZOOM参加の場合は右のフォーム(QRコード)からお申し込み下さい。主催者からID等をご連絡します。

●託児ありの企画は、高津センターで参加する方のみ可能です。

ルールの確認はこちら(QRコード)→



申込フォーム



託児ルール

名前 \_\_\_\_\_ 公 \_\_\_\_\_

コモンズ/デポー名 \_\_\_\_\_

Mail \_\_\_\_\_

託児 有・無、子どもの名前 ( 歳)

アレルギー 有・無